

私は春休みに家族で7年ぶりに沖縄に行きました。そこで私が一番強く感じたのは自分の住む世界との違いでした。まず現地に着いて思ったのは、東京と違って暖かい、町並が全く違うという事です。海は青く、自然は豊かで、こんなにも美しい場所が日本にあるなんてと思いました。そしてお店に入り、沖縄の人々と関わっていくうちに、新たな違いにも気づきました。この人たちは話している言葉が何だか変だし、顔も日本人じゃないみたいだと違和感を覚えました。しかし気がついたのです。日本人じゃないのは私なんだということに。私の世界は自分が思うよりもずっと狭いのです。私の国は日本ではなかったのです。自分の住んでいる地域が私にとっての国でした。そんな狭い国の中で自分は生きていたのだと思った時、外の世界に強く興味を持つようになりました。昔の人々は日本という世界の中に今という都道府県という国があるのだと思っていました。人々は自分たちがどれほど狭く小さい者なのか気づいていなかったのです。世界はもっとずっと広く、知らない事や素敵な事で溢れているということに。そんな昔の人々の考え方を聞いて、現代人の皆さんは馬鹿らしいと思うでしょう。どうして他にも世界が広がっているという事を知らないのか。昔の人々はあまりにも外を見ていなさすぎる。そう思いませんか。

しかしそんな私達は どうでしょう。東京人ではなく、日本人になりきれれていますか。同じ国に生き、こんなにも距離は近いはずなのに 関わるのが怖い、分かり合えるのか分からない。そんな警戒心や恐怖心から勝手に自分の国の壁を作り、いつのまにかその世界しか知らない自分がある。やがて私達は狭い壁の中でしか自分は生きていないのだということすら忘れてしまうのです。私達は今も昔も何も変わっていないのだということも忘れてしまうのです。しかしそれでも私達の世界が少しずつ広がっています。それは私達の頭が良くなったのでも進化したからでもないと思います。自分が作った壁の存在に気づけた者、自分の世界がどんなに狭いものなのか気づけた人が世界を変えたのです。自分のちっぽけさに気づいて初めて外の世界を知りたいと思うのではないのでしょうか。そんなとき、今いる自分の世界が少し窮屈に思えるかもしれません。私達はもっと広い世界で生きれるはずだと私は思います。自分が本当の日本人になれたなら、今度はもっと世界を広くして、地球自体が自分の世界なのだと初めて思えるのだと思います。皆さんが英語を学ぶのは何故ですか？もちろん大学受験の為だと思います。世界を知ろうとなんて思っていないし、英語が話せるとカッコイイからなどという不純な動機でもあると思います。私達にとって英語は異国の言葉です。自分の国の中でさえ壁を作ってしまう私達なので、英語だなんて遠く、近づきがたい存在でしかありません。

しかし、自分の世界が広ければ広いほどそれも身近に感じるのではないのでしょうか。東京人や日本人というくくりではなく、同じ地球人というくくりで考えてしまえば、遠いはずの存在も近くに感じられるのではないのでしょうか。今の私達にそれは難しいかもしれませんが、まず少しずつでも世界を広げていく事から始めれば、世界の本当の大きさを知れると思

います。遠い物は近く、狭いものは広くなるのです。まずはクラスの中にできた壁を壊してみるのも良いと思います。